



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL http://www.belluna.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	37,069	16.8	2,257	6.5	2,465	2.8	1,560	△13.0
25年3月期第1四半期	31,749	16.8	2,120	10.3	2,398	44.8	1,792	89.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,544百万円(△14.7%) 25年3月期第1四半期 1,811百万円(34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	32.10	—
25年3月期第1四半期	36.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	116,394	67,792	58.2
25年3月期	115,079	66,612	57.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 67,792百万円 25年3月期 66,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,000	16.1	3,200	47.2	3,400	34.1	2,200	20.3	45.25
通期	130,000	10.3	9,500	34.2	10,000	12.2	6,500	10.7	133.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期1Q	56,592,274株	25年3月期	56,592,274株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	7,972,451株	25年3月期	7,972,253株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期1Q	48,619,917株	25年3月期1Q	48,958,976株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権の財政政策や日銀の金融緩和などにより円安・株高へ転じ、それに加え経済政策への期待感もあって、全体としての景況感は徐々に改善されつつあります。一方で、円安による輸入品価格の上昇や海外経済の減速感など下振れ懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループはポートフォリオ経営を強化するとともに、顧客ニーズに合った商品展開などにより、稼動顧客数の拡大を図って参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37,069百万円（前年同期比16.8%増）となりました。営業利益は増収効果などにより2,257百万円（同6.5%増）となりました。また、それに伴い経常利益も2,465百万円（同2.8%増）となり、四半期純利益は1,560百万円（同13.0%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較について、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[総合通販事業]

「衣料品」や「身の回り品・趣味用品」が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は23,148百万円（同6.9%増）となりました。一方で、セグメント利益は物流関連費の増加などにより400百万円（同65.6%減）となりました。

[専門通販事業]

化粧品、看護師向け事業が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は5,549百万円（同1.3%増）となりました。一方で、セグメント利益はグルメ事業が苦戦したことにより6百万円（同93.0%減）となりました。

[店舗販売事業]

アパレル店舗事業に加えて、和装の店舗展開を行っている㈱BANKANと㈱わものやが順調に売上を伸ばしたことで、売上高は1,357百万円（同30.6%増）となりました。一方で、セグメント利益は出店コストもあり、43百万円の損失（前年同期はセグメント利益17百万円）となりました。

[ソリューション事業]

封入・同送サービスと通販代行サービスが堅調に推移したことにより、売上高は1,219百万円（同4.5%増）、セグメント利益は515百万円（同0.5%減）となりました。

[ファイナンス事業]

不動産担保金融事業で営業貸付金残高は減少しましたが、国内消費者金融事業と韓国消費者金融事業で営業貸付金残高が伸びたことにより、売上高は853百万円（同20.5%増）となりました。一方で、セグメント利益は利息返還損失引当金繰入額の減少などにより176百万円（前年同期はセグメント損失67百万円）となりました。

[プロパティ事業]

販売用不動産の売却により、大幅な増収増益となり、売上高は4,196百万円(同363.5%増)、セグメント利益は1,131百万円(同282.9%増)となりました。

[その他の事業]

アパレル卸事業を展開しているフレンドリー㈱で売上が減少したことなどで、売上高は881百万円(同2.5%減)、セグメント利益は45百万円(同37.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は63,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,228百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が1,923百万円増加した一方で、販売用不動産が2,764百万円、原材料及び貯蔵品が665百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は52,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,543百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1,430百万円、建物及び構築物が536百万円、機械装置及び運搬具が449百万円それぞれ増加したことによるものであります。この結果、資産合計は116,394百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,315百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は39,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ359百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が2,108百万円、短期借入金1,789百万円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が4,654百万円増加したことによるものであります。固定負債は9,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ224百万円減少いたしました。この結果、負債合計は48,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は67,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,179百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は58.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した㈱グレースと㈱ビッグベルジャパンを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,833	14,205
受取手形及び売掛金	11,444	12,353
営業貸付金	16,457	17,263
有価証券	916	370
商品及び製品	12,754	14,677
原材料及び貯蔵品	962	296
販売用不動産	3,831	1,066
仕掛販売用不動産	84	84
繰延税金資産	986	764
その他	4,157	4,163
貸倒引当金	△1,337	△1,385
流動資産合計	65,091	63,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,192	12,728
機械装置及び運搬具(純額)	191	641
工具、器具及び備品(純額)	319	328
土地	19,646	19,830
リース資産(純額)	151	182
建設仮勘定	2,729	2,483
有形固定資産合計	35,230	36,196
無形固定資産		
のれん	98	65
リース資産	1,516	1,554
その他	2,280	2,164
無形固定資産合計	3,896	3,785
投資その他の資産		
投資有価証券	7,099	8,530
長期貸付金	1,642	1,921
破産更生債権等	2,776	2,762
繰延税金資産	141	197
その他	1,458	1,362
貸倒引当金	△2,257	△2,223
投資その他の資産合計	10,860	12,550
固定資産合計	49,987	52,531
資産合計	115,079	116,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,052	21,707
短期借入金	7,456	5,666
未払費用	6,740	7,490
リース債務	416	437
未払法人税等	2,650	542
賞与引当金	558	278
返品調整引当金	82	102
ポイント引当金	556	603
その他	3,208	2,254
流動負債合計	38,723	39,083
固定負債		
長期借入金	5,783	5,222
利息返還損失引当金	1,149	1,150
リース債務	928	1,025
退職給付引当金	247	242
役員退職慰労引当金	227	229
資産除去債務	463	465
その他	943	1,183
固定負債合計	9,743	9,518
負債合計	48,466	48,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	54,900	56,096
自己株式	△9,675	△9,675
株主資本合計	66,835	68,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	676	527
為替換算調整勘定	△899	△766
その他の包括利益累計額合計	△222	△238
少数株主持分	0	0
純資産合計	66,612	67,792
負債純資産合計	115,079	116,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	31,749	37,069
売上原価	13,778	17,053
売上総利益	17,970	20,015
返品調整引当金繰延差額	28	19
差引売上総利益	17,942	19,996
販売費及び一般管理費	15,822	17,738
営業利益	2,120	2,257
営業外収益		
受取配当金	17	70
固定資産税還付金	150	5
為替差益	—	296
その他	253	223
営業外収益合計	420	596
営業外費用		
支払利息	34	33
デリバティブ評価損	73	150
投資事業組合運用損	8	167
その他	25	38
営業外費用合計	142	388
経常利益	2,398	2,465
特別損失		
投資有価証券評価損	—	33
特別損失合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	2,398	2,432
法人税、住民税及び事業税	595	537
法人税等調整額	9	334
法人税等合計	605	871
少数株主損益調整前四半期純利益	1,792	1,560
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	1,792	1,560

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,792	1,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△149
為替換算調整勘定	36	133
その他の包括利益合計	18	△15
四半期包括利益	1,811	1,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,811	1,544
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販事業	専門通販事業	店舗販売事業	ソリューション事業	ファイナンス事業	プロパティ事業	その他の事業	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高									
外部顧客への売上高	21,630	5,470	1,039	1,092	707	905	902	—	31,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	7	—	74	—	—	1	△103	—
計	21,649	5,478	1,039	1,167	707	905	904	△103	31,749
セグメント利益(又はセグメント損失△)	1,161	90	17	517	△67	295	73	31	2,120

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳63百万円とのれん償却費△32百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販事業	専門通販事業	店舗販売事業	ソリューション事業	ファイナンス事業	プロパティ事業	その他の事業	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高									
外部顧客への売上高	23,127	5,548	1,357	1,108	853	4,196	877	—	37,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	0	—	110	—	—	4	△136	—
計	23,148	5,549	1,357	1,219	853	4,196	881	△136	37,069
セグメント利益(又はセグメント損失△)	400	6	△43	515	176	1,131	45	25	2,257

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳58百万円とのれん償却費△32百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第二次短期経営計画が今期からスタートすることに伴い、各事業における経営管理体制の明確化及び強化を図るために、以下のとおり、報告セグメントを変更しております。

<旧セグメント>

- | | |
|---------------|---|
| (1) 総合通販事業 | 衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売及び関連事業 |
| (2) 専門通販事業 | 食料品・化粧品・健康食品等の単品販売や、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業 |
| (3) ソリューション事業 | 受託業務事業(封入・同送サービス事業を含む) |
| (4) ファイナンス事業 | 消費者金融事業並びに担保金融事業 |
| (5) プロパティ事業 | 不動産賃貸事業、不動産再生・開発事業、ゴルフ場運営事業等 |
| (6) その他の事業 | 和装関連商品の販売事業、卸売事業等 |

<新セグメント>

- | | |
|---------------|---|
| (1) 総合通販事業 | 衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売及び関連事業 |
| (2) 専門通販事業 | 食料品・化粧品・健康食品等の単品販売や、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業 |
| (3) 店舗販売事業 | 衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業 |
| (4) ソリューション事業 | 受託業務事業(封入・同送サービス事業を含む) |
| (5) ファイナンス事業 | 消費者金融事業並びに担保金融事業 |
| (6) プロパティ事業 | 不動産賃貸事業、不動産再生・開発事業 |
| (7) その他の事業 | 卸売事業、ゴルフ場運営事業等 |

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントで記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。